

平成30年度  
文化芸術による子供の育成事業  
—巡回公演事業—

< 公演団体名 梅若研能会 >

< 狂言「瘰癧」 能「土蜘蛛」の公演 >



「土蜘蛛」の写真（撮影：前島写真店）

「文化芸術による」子供の育成事業—巡回公演事業—

我が国の一流の文化芸術団体が小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

| 実施日程            | 実施校名       | 地元主催者                         |
|-----------------|------------|-------------------------------|
| 平成30年 6月12日 (火) | 美馬市立穴吹小学校  | 徳島県教育委員会/美馬市教育委員会             |
| 平成30年 6月13日 (水) | 徳島市津田中学校   | 徳島県教育委員会/徳島市教育委員会             |
| 平成30年 6月14日 (木) | 丹波市立山南中学校  | 兵庫県教育委員会                      |
| 平成30年 6月15日 (金) | 神戸市立押部谷小学校 | 神戸市教育委員会                      |
| 平成30年10月23日 (火) | 東温市立北吉井小学校 | 愛媛県/愛媛県教育委員会<br>/東温市/東温市教育委員会 |
| 平成30年10月24日 (水) | 松山市立立岩小学校  | 愛媛県/愛媛県教育委員会<br>/松山市教育委員会     |
| 平成30年10月25日 (木) | 西条市立西条小学校  | 愛媛県/愛媛県教育委員会<br>/西条市教育委員会     |
| 平成30年10月26日 (金) | 松山市立窪田小学校  | 愛媛県/愛媛県教育委員会<br>/松山市教育委員会     |
| 平成30年11月20日 (火) | 四万十市立竹島小学校 | 高知県教育委員会                      |
| 平成30年11月21日 (水) | 高知市立小高坂小学校 | 高知県教育委員会                      |
| 平成30年11月22日 (木) | 北川村立北川小学校  | 高知県教育委員会                      |

- 梅若研能会の前身である梅若万三郎家の歴史はおよそ600年に遡ります。発祥には諸説ありますが、左大臣橋諸兄を祖とします。初世万三郎は、五十三世実の長男ですが弟の六郎に本家を譲り、現在の万三郎家を起こしました。昭和3年に1月に研能会を設立し、以降昭和19年戦争激化のため休会するまで、演能回数 は155回を数えます。昭和21年染井の松平家舞台で再開し、以後今日まで毎月公演を継続しております。昭和49年10月に財団法人に改組し、平成24年4月内閣府の認定を受けて公益財団法人となっております。
- 海外公演もベルギー、フランス、ドイツ、ラトビア、イギリス等多くの国々で催行してきました。

知っていますか? ~ 10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

## 狂言「痿痺」大蔵流 のあらすじ

\* 演目の標記は流儀により異なる。大蔵流山本東次郎家は「痿痺」、和泉流は「痺」

急に客が来ることになったので、主人は太郎冠者を呼び出し和泉の堺まで肴を買いに

行くように命ずる。太郎冠者は行きたくないので、仮病をつかって逃れようと、しびれが

きたたと大袈裟に痛がる。主人がまじないで治そうとすると、太郎冠者はこのしびりは親か

らゆずられたもので、じぶんにはきかないといいだす。太郎冠者の仮病に気付いた主人は、

伯父から使いが来て今夜振る舞い（ごちそう）をしてくれるから太郎冠者も同行するよう

に言われたが、太郎冠者はしびりが痛くて動けないので次郎冠者を連れていくというとい

う。太郎冠者はご馳走になる機会を逃してはと宣命を含めれば治ると言い出す。・・・

## 能「土蜘蛛」観世流 のあらすじ

源の頼光が原因不明の病に伏していると、侍女の胡蝶が薬を持って見舞いに来て励ます

が、思いに沈むばかり。やがて夜更けに頼光のもとに怪しげな僧が現れ、蜘蛛の糸を投げ

かけるが、頼光に斬られて逃げ去る。頼光の家来が駆けつけ、血の痕を追うと葛城山に辿り

着く。すると岩陰から土蜘蛛の精が現れ、蜘蛛の糸を投げかけて頼光の家来をさんざん

に苦しめるが、最後は切り伏せ退治される。

[土蜘蛛]を謡ってみよう

[後シテ] なんじしらずやわれむかしー。 かずらきやまにとしを  
へしー。 つちぐものせいこんなりー。

汝知らずや我昔。 葛城山に年を  
経し。 土蜘蛛の精魂なり。

鑑賞の手引き

「土蜘蛛」は、頼光やその家来たちによる蜘蛛退治の物語で、土蜘蛛の精が何度も投げかける蜘蛛の糸がきれいで見事です。

|        |      |   |
|--------|------|---|
| 登場する人物 | 前シテ  | 僧   |
|        | 後シテ  | 土蜘蛛の精   |
|        | ツレ   | 源頼光   |
|        | ツレ   | 胡蝶  |
|        | トモ   | 頼光の家来   |
|        | ワキ   | 独武者   |
|        | ワキツレ | 独武者の家来  |
|        | アイ   | 独武者の下人  |
| 役の説明   | シテ   | ・・・主役のこと。一曲一人で、能面を付ける。  |
|        | ツレ   | ・・・シテに従う役。<br>「源頼光」病に伏している武将（能面はつけない）<br>「胡蝶」頼光に仕えている女性（生徒がつとめるので能面は付けない） |
|        | トモ   | ・・・ツレの一種。シテまたはツレが主人で、その供である<br>場合トモという。                                   |
|        | ワキ   | ・・・能の脇役。  |

「独武者」頼光の<sup>ゆうもう</sup>勇猛な家来であるが、特に<sup>とく</sup>誰の<sup>だれ</sup>ことかわからない。

ワキツレ・・・ワキに従う人。

アイ・・・<sup>ものがたり</sup>物語の<sup>せつめい</sup>説明をする役。<sup>きょうげんかた</sup>狂言方がつとめる。

地謡・・・シテ方の<sup>やくしや</sup>役者が<sup>じうたいざ</sup>地謡座という<sup>ばしよ</sup>場所に6人～  
8人が<sup>ぜんご</sup>前後二列に<sup>せいざ</sup>正座して<sup>せいしやう</sup>斉唱する。

後見・・・<sup>かいえんまえ</sup>開演前に<sup>しやうぞく</sup>能面、<sup>つくりものなど</sup>装束及び<sup>てんけん</sup>作り物等の<sup>てんけん</sup>点検。  
シテの<sup>しやうぞくづ</sup>装束付け、<sup>じやうえんちゆう</sup>上演中はシテの<sup>かいぞえやく</sup>介添役をする。